

2017 年度夏季講習会：iPhone の基本操作と文字入力 テキスト

広島市視覚障害者情報支援センター

2017.07.30

<目次>

はじめに	
1 使用機器1
2 ジェスチャーの練習1
3 設定3
(1)画面の向きのロック	
(2)キーボード	
(3)VoiceOver	
4 キーボードの種類4
(1) 日本語—かな	
(2) English(US)キーボード	
(3) 絵文字キーボード	
5 文字入力6
(1)入力モード	
(2)「日本語かな」キーボードによるかな漢字の入力	
(3) 数字の入力	
(4) アルファベットの入力	
(5) 音声入力	
6 文字列の編集11
(1)「削除」キー	
(2) カや削除の取り消し	
(3) 文字列のコピー・切り取り・貼り付け	

はじめに

VoiceOver による文字入力は、キーボード上のキーを探し、ダブルクリックをして、一文字の入力が完了し、さらに、数文字の入力の後、漢字変換を行うという煩雑な作業の繰り返しである。その煩雑さから、ID やパスワードが必要なアプリや Web は避けているという視覚障がい者も少なくない。このように文字入力は、iPhone 操作の習熟において高いハードルの一つと言われている。しかし、最初は文字入力に長い時間を要していたが、練習を繰り返すことによってこの高いハードルを越えた人は何人もいる。

また、iPhone では、キーボードや入力モードの種類が多数用意され、また、漢字変換の方法も数種類ある。このように文字入力は多くの選択肢がある分、理解しにくく、複雑なものとなっている。

本講座では、次の3ステージを順にクリアすることによって、この文字入力という高いハードルを克服したいと考える。

第1ステージ：キーボードや入力モードの種類や特徴を理解する。

第2ステージ：練習することによって、自分にあった入力方法を見つける。

第3ステージ：「挿入」や「カット&ペースト」など文字列の編集を自在に行える。

1 使用機器

- iPhone iOS 10.3.2 (最新バージョン)
 - アルファベットの大文字と小文字の区別が可能。
- iPad air iOS 10.3.2 (最新バージョン)
 - テンキー入力による標準アプリの「メモ」への入力時に、上下フリックによる読み上げができないなどの不具合がある。
 - 下記の「メモ帳」を使えば、うまく使用できる。
 - このアプリのインストールには2点の注意が必要である。
 - 同じ名称のアプリがあるので、制作者が「ケンイチ ヤジマ」を選択すること。
 - 「iPhoneのみ」の「メモ帳」を選択すること。
- iPad iOS 9.3.5
 - アルファベットの大文字と小文字の区別ができない。

2 ジェスチャーの練習

VoiveOver をコントロールするための、種々のジェスチャーが準備されている。

*特に、指の本数が明示されていないものは、1本指のジェスチャーを指している。

□移動と読み上げ

- **タップ**：項目を選択して読み上げる。
- **右または左にスワイプ**：次または前の項目を選択する。
- **上または下にスワイプ**：ローター設定によって異なる。
- **2本指でタップ**：現在の項目の読み上げを停止する。
- **2本指で上にスワイプ**：画面の一番上からすべての項目を読み上げる。
- **2本指で下にスワイプ**：現在の位置からすべての項目を読み上げる。
- **2本指でスクラブ (z を描く)**：前の画面に戻る。
- **3本指で上または下にスワイプ**：一度に1ページ分をスクロールする。
- **3本指で右または左にスワイプ**：次または前のページに移動する。
- **3本指でタップ**：リスト内の位置やテキストが選択されているかどうかなど、追加情報を読み上げる。
- **画面の上部を4本指でタップ**：ページ内の最初の項目を選択する。
- **画面の下部を4本指でタップ**：ページ内の最後の項目を選択する。

□有効化

- **ダブルタップ**：選択した項目を有効する。
- **トリプルタップ**：項目をダブルタップする。
- **スプリットタップ**：ダブルタップと同じ働きをする。(1本の指で項目にタッチしたまま、別の指で画面をタップする)
- **ダブルタップ&ホールド**：次のジェスチャを標準のジェスチャと解釈するように iPhone に指示する。フリック入力の時に使用する。
- **2本指でダブルタップ**：「ミュージック」、「ビデオ」、「ボイスメモ」、または「写真」では、再生したり、一時停止したりする。「音声入力」でも使用する。
- **3本指でトリプルタップ**：VoiceOver を消音にしたり、消音を解除したりする。
- **3本指でクアドラプルタップ**：スクリーンカーテンのオン/オフを切り替える。
- **4本指でダブルタップ**：ヘルプモードに入り、ジェスチャーの認識結果を伝える。
- **ローター**：任意の場所で2本の指で回転する。時計回り、半時計回りができ、1回の回転

で一つのカテゴリーが読み上げられる。小刻みに回転させるのがコツ。

練習1 ヘルプモードにて本講習会で頻繁に使用するジェスチャーの練習をします。

4本指ダブルタップをして、ヘルプモードに入ります。

ヘルプモードでチェスチャーを行うと、正しくできたかがわかります。

練習2 次のジェスチャーをそれぞれ数回行い、確実にジェスチャーができるようになります。

「右左スワイプ」「上下スワイプ」「3本指タップ」「ダブルタップ」「スプリットタップ」

「2本指ダブルタップ」「ローター」

練習3 特に、スプリットタップはテンキー入力では多用しますので、よく慣れておきましょう。画面の右端、左端でもうまくできるよう使用する指を工夫しましょう。

練習4 本講習では、ローターを何度も利用しますので、時計回り、反時計回りとも念入りに練習しておきましょう。

3 設定

(1) 画面の向きのロック等

□コントロールセンターの画面の向きをロックする。

画面の向きが自動で変わるので、VoiceOver 使用時はロックしておく。

- ・画面最上部のステータスバーにタッチしてから 3 本指で上にスワイプする。
- ・「コントロールセンター」が画面の下半分に表示される。
- ・右スワイプにより、「画面の向きのロック」切替ボタンまで進み、ダブルタップしてオンにする。「オン」とのフィードバックがある。

□AirDrop の受信者を「すべての人」に設定する。

AirDrop を使って練習用テキストを送付するための設定である。

- ・コントロールセンターで、「AirDrop」まで右スワイプで進む。
- ・「すべての人」になっていない場合は、ダブルタップし、右スワイプし、全員を選び、ダブルタップする。



図1 コントロールセンター

(2) キーボード

- ・キーボード：使用するキーボードの種類を選択する

「設定」 → 「一般」 → 「キーボード」 → 「キーボード」

> 選択するキーボード

次のキーボードがない場合、「新しいキーボードを追加」を用いて追加する。

- 英語
- 日本語-かな
- 絵文字

- ・キーボード分割：オン (テンキー入力に必要) iPad のみ

iPad でテンキー入力やフリック入力が可能になる。

「設定」 → 「一般」 → 「キーボード」 → キーボード分割：オン

- 音声入力：オン

キーボードからの入力が代わりに、音声による入力が可能になる。

「設定」 → 「一般」 → 「キーボード」 → 音声入力：オン

- フリックのみ：オフ

フリックのみをオンにすると、テンキー入力ができなくなる。

「設定」 → 「一般」 → 「キーボード」 → フリックのみ：オフ

(3) VoiceOver

- ピッチ変更を使用：オン

選択時、入力時、消去時の声のトーンを変える。

「設定」 → 「一般」 → 「アクセシビリティ」 → 「VoiceOver」 → ピッチ変更
を使用：オン

- ローターで選択可能な言語

英語（アメリカ）は、全角・半角や大文字・小文字の区別に利用する。

「設定」 → 「一般」 → 「アクセシビリティ」 → 「VoiceOver」
→ 「スピーチ」 → ローターで選択可能な言語

>選択可能な言語として次の2つを選択する。

-英語（アメリカ）

-日本語（日本）

- ローター：ローターで使用できる項目

「設定」 → 「一般」 → 「アクセシビリティ」 → 「VoiceOver」
→ 「ローター」

>次の項目を選択する。

-文字、単語、行、読み上げ速度、句読点、コンテナ、見出し、リンク、フォームコントロール、ランドマーク、テキストフィールド、縦方向のナビゲーション、テキスト選択、入力モード、言語

- 欧文通話表フィードバック：文字と欧文通話表

日本語の詳細読みに相当。

「設定」 → 「一般」 → 「アクセシビリティ」 → 「VoiceOver」
→ 「欧文通話表フィードバック」 → 「文字と欧文通話表」を選択

- 自動テキスト読み上げ：オン

「オン」の場合、漢字変換時に、下フリックで次候補を読み上げる。

「設定」 → 「一般」 → 「アクセシビリティ」 → 「スピーチ」
→ 「入力フィードバック」 → 自動テキスト読み上げ：オン



図2 キーボードの設定



図 VoiceOver の設定

4 キーボードの種類

「メモ」アプリの入力部分や Web のテキストフィールドをダブルタップすると、スクリーンキーボードが画面の下部に現れる。

ここでは、「日本語-かな」「英語」「絵文字」の3種類のスクリーンキーボードを紹介する。

(1) 日本語かなキーボード

□概要

iPhone の場合、4行5列のキーから成っている。

- ・ 2列、3列、4列が 50 音キーになっている。指でなぞって、キーのおおよその位置を覚えよう。
- ・ 1列と5列は、修飾キーである。1列目の修飾キーは、上から「完了」キー、「逆順」キー、「モード切替」キーの順に並んでいる。4行目には「次のキーボード」キーと「音声入力」キーが2つ横に並んでいる。5列目は、上から「削除」キー、「空白」キー、「改行」キーの順に並んでいる。なお、「改行」キーは3行、4行にまたがる、他キーより大きいキーである。

→	あ	か	さ	⌫
↶	た	な	は	空白
ABC	ま	や	ら	改行
🌐 🗣	ゝ	わ	、。?!	

図3 日本語かなキーボードのキー配置 (iPhone の場合)

□周辺キーの機能

- ・ 「完了」キー：同じキーで入力する文字が続く場合、1文字送る。
- ・ 「逆順」キー：テンキー入力の場合、「あいうえお」の順に候補が現れるが、このキーを押すと、

「あいうえお」が「おえういあ」の逆順になる。

- ・「モード切替」キー：「その他文字」はアルファベットの入力モード、「その他数字」は数字と記号の入力モード、「その他かな」はかな入力モードとなる。
- ・「次のキーボード」(🌐マーク)：キーボードを切り替える。「日本語かな」「絵文字」「English」の3種類のキーボードを切り替える。
- ・「音声入力」キー：音声入力をするときに使用する。
- ・「削除」キー：一文字削除する。挿入ポイント(縦棒カーソル)の左側の文字を削除する。
- ・「空白」「改行」キー：それぞれ、スペースと改行を入力する。文字を入力したあとは、この2つのキーは、それぞれ、「次候補」「確定」に変わるので注意が要る。

練習5 日本語かなキーボードにタッチし、キー配置を確認しよう。

□キーボードの切替

切り替える方法には、次の2つの方法がある。

・ダブルタップ

「次のキーボード」キーをダブルタップする。「次のキーボード」にタッチすると、例えば、「絵文字」と次のキーボードの種類を読み上げる。そこで、ダブルタップすると、次のキーボードに切り替わる。切り替わると同時に、現在のキーボードではなく、さらに、次のキーボードの種類を読み上げることに注意する。

・ダブルタップ&ホールド

ダブルタップ&ホールドをして、指を上方にスライドさせ、目的のキーボードが読み上げられたとき指を離す。

(2) English(US) キーボード

□概要

- ・4行(段)から構成される。アルファベット文字は、1、2、3行に、QWERT型に配列されている。
- ・修飾キーは、3行目の左の「シフト」キー、4行目左から「モード切替」キー、「次のキーボード」キー、「音声入力」キー、「スペース」キー、「リターン」キー、そして、3行目の右の「削除」キーが配置されている。
- ・キーの配列は、パソコンのキーボードに似ているが、数字キーや記号キーがない。数字や記号を入力する場合、「モード切替」を行う。
- ・入力文字は、すべて半角文字であるので、IDやパスワードの入力に便利である。

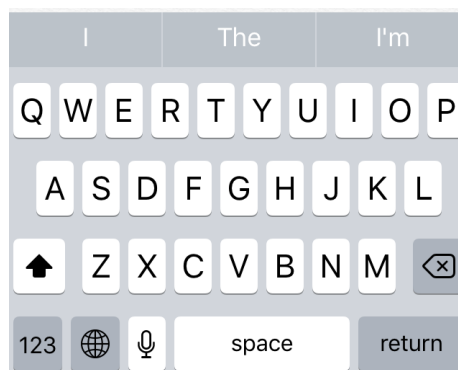


図4 English(us)キーボードのキー配置

練習6 English(US)キーボードにタッチし、キー配置を確認しよう。

(3) 絵文字キーボード

□概要

- ・絵文字の入力と絵文字の名前を読み上げる。絵文字は、5行8列で表示される。
- ・修飾キーは、最下位の行に配置され、右から「次のキーボード」キー、9つの「絵文字カテゴリ」キー、「削除」キーが並んでいる。
- ・「絵文字」キーは、1ページに40個、全38ページに1000個以上の絵文字が並んでいる。ページの移動は、3本指左右スワイプで行う。また、最下位の「絵文字カテゴリ」キーで選択ができる。
- ・メールやメッセージでは、絵文字がよく利用されている。



図5 絵文字キーボードのキー配置

練習7 絵文字キーボードにタッチし、キー配置を確認しよう。

5 文字入力

(1) 入力モード

入力モードは、「標準入力モード」「タッチ入力モード」「ダイレクトタッチ入力モード」の3種類ある。ローターを左右に回転させ、「入力モード」に合わせ、上下スワイプで目的のモードに合わせる。本講習会では、「標準入力モード」で練習を行う。また、ダブルタップの代わりに、スプリットタップを用いて入力を行う。

*ローター操作の **Tips** : 入力モードは、「縦方向ナビ」「テキスト選択」と読み上げた場合は、右回転させ、「言語」「編集」「文字」と読み上げた場合は、左回転させるのが、効率的である。

□標準入力モード

- ・キーをタッチして目的のキーを選択してから、ダブルタップして文字を入力する。または、指をキーボード上で動かし、キーを選択し、1本指をキーに押さえたまま別の指で画面をタップする（スプリットタップ）。
- ・キーを選択すると VoiceOver からキーが読み上げられ、文字を入力するときにもう一度読み上げられる。

□タッチ入力モード

- ・キーボードのキーにタッチして選択し、指を離して文字を入力する。間違ったキーをタッチし

た場合は、使用したいキーに指をスライドさせる。

- ・キーをタッチすると、VoiceOver からそれぞれのキーの文字が読み上げられる。指を離すと、VoiceOver はその文字を入力する。

□ダイレクトタッチ入力モード

- ・VoiceOver がオフの場合と同じように入力する。このモードでは、入力時のみ VoiceOver がオフになる。

(2)「日本語かな」キーボードによるかな漢字の入力

次の手順で入力を行う。

手順: **メモアプリを起動** → **入力準備** → **キーボード確認** → **かな入力** → **漢字変換** → **確定**
→ **確認**

①メモアプリの起動

- ・ホームボタンを長押し : 「ピピン」と応答 → 「メモを起動」と発話 : メモが起動

②入力準備

- ・「新規メモ」まで右スワイプ → ダブルタップ: 「新規メモ」「先頭に挿入ポイント」と応答
- ・ダブルタップすることで、挿入ポイントが「先頭」から「末尾」、「末尾」から「先頭」に切り替わる。

③キーボードの確認

- ・画面の下をなぞって、「あかさたな」と読み上げれば、「日本語かな」キーボードである。

④かな入力

「日本語かな」の入力には、「テンキー入力」と「フリック入力」がある。

□テンキー入力

- ・ガラケーの入力方法と同じである。例えば、「う」を入力する時、1本指を「あ」の上に置いたままだでもう1本の指を3回タップする。
- ・「逆順」キーの使用
「え」を入力したいが、スプリットタップの回数が多く、「お」まで行ってしまった場合、「逆順」キーのスプリットタップで戻すことができる。

□フリック入力

- ・標準入力モード (ダブルタップ&ホールド)
 - 「う」を入力する時、「あ」をダブルタップ&ホールドすると、効果音とともに「あ」の周りを囲むように「いうえお」が表示される。
 - 9時の方向に「い」、12時の方向に「う」、3時の方向に「え」、6時の方向に「お」が配置されている。
 - タッチしたままの指を「う」の場所にスライドさせてから指を離す。
 - スライドでなくても、フリックのジェスチャーでその文字を選択できる。
- ・タップ入力モード
 - 1本指をタッチしたままにしておくと、標準入力モードと同じように候補文字が周りに表示される。
 - 文字の選択は、スライドまたはフリックを行う。

*注意点

- ・「濁点」「半濁点」「小文字」の入力
 - 例えば、「ビ」を入力する場合、まず、「ひ」と入力した後、左下の「小文字、濁点、半濁

点」キーをダブルタップすることにより、「バ」となる。さらに、ダブルタップすることによって「ぱ」となる。

- ・拗音の小文字の「ゃ ゅ ょ」も、濁点の場合と同じように、「小文字、濁点、半濁点」キーを用いることによって拗音となる。
- ・右下（4行4列目）に、読み上げないキーがあるが、それは「、」「。」「?」「!」のキーである。

⑤漢字変換・確定

ひらがなを漢字に変換するのに、「ローターによる変換」「次候補キーによる変換」の二つ方法があるが、「ローターによる変換」の方が候補の逆順もできるため、効率的と思われる。

□ローターによる変換

- ・ローターの設定

ローターを「自動テキスト読み上げ」に設定。ひらがな入力を行うと、これは自動的に行われる。

- ・次候補の選択と確定

下スワイプで順に変換候補が読み上げられ、上スワイプで候補が逆順で戻る。ダブルタップで確定され、メモに入力される。この場合、スプリットタップによる確定は困難である。

なお、

□次候補キーによる変換

- ・右中段の「次候補」キーをダブルタップすることによって、変換候補が読み上げられる。逆順はできない。必ず、確定・入力は「確定」キーのダブルタップで行う。

⑥入力文字の確認

- ・ローターを「文字」「単語」「行」に設定し、上下スワイプでそれぞれ「文字」「単語」「行」単位で読み上げる。

入力課題：「福祉センター 広島市南区松原町 5-1 (Big Front ひろしま)」

練習 8 メモアプリを起動し、メモの最初に、「標準入力モード」で「テンキー入力」により「ふくし」と入力します。その後、漢字変換をして、確認をしましょう。

練習 9 福祉の後にカタカナの「センター」を入力します。ひらがなを入力後、下スワイプで、「かたかなのせんたー」と読み上げるのを確認する。

練習 10 センターの後に、「広島市南区松原町」と入力します。

(3) 数字の入力

数字の入力は、どのキーボードでも可能であるが、English(US)キーボードは半角数字を確実に入力するのに向いている。

ここでは、テンキータイプの日本語かなと English(US)キーボードで数字の入力を行う。

□日本語かなキーボード

次の手順で数字を入力する。

手順: キーボードを数字モードに切り替え → 数字のテンキー入力 → 変換・確定 → 確認

①数字モードに切り替え

- ・ 左下の「モード切替」キーに触れると、現在がかな入力モードの場合、「その他文字」と読み上げる。現在の入力モードでなく、次の入力モードを読み上げることになっている。
- ・ 左下の「その他文字」キーをダブルタップすると、「その他数字」を読み上げる。現在のモードは、アルファベットである。
- ・ 再度、左下の「その他文字数位」キーをダブルタップすると、「その他かな」と読み上げる。現在のモードは、数字モードになっている。

②テンキー入力による数字の入力

- ・ 数字がテンキーに配置されている。1回のスプリットタップでそれぞれの数字が入力される。
- ・ 2回目以上のスプリットタップを行うと、記号が入力される。
- ・ 変換をせずに、「確定」キーをダブルタップすると、半角文字が入力される。Webでは、半角数字の入力を要求されることが多く、全角数字が求められることは少ない。

③確認

現在、日本語の読み上げでは全角と半角数字を判別できないが、言語を English(US)にすることによって判別することができる。

- ・ 言語を English(US)にする。
 - ローターのカテゴリーを言語に合わせ、上下スワイプによって「English (US)」を選択する。
- ・ 確認する。
 - ローターのカテゴリーを「文字」に合わせて、上下スワイプで一文字ずつ読み上げる
 - 半角数字の場合、「ワン」「トゥー」「スリー」と数字を英語で読み上げる。
 - 全角数字の場合、「フル・ウィズット・ディジット・ワン」「フル・ウィズウ・ディジット・トゥー」「フル・ウィズウ・ディジット・スリー」と読み上げ、半角と区別できる。

④その他（全角数字）

特別な場合に全角数字の入力を求められることがある。全角数字の確認はできても、全角数字に変換する確実な方法がない。

- ・ 数字をテンキー入力後、下スワイプ（次候補）を行い、2回目に読み上げられた数字が全角文字の場合が多いので、その文字を確定し、入力する。

□English(US)キーボード

手順: キーボードを English(US)に切替 → 数字モードに切り替え → 入力 → 確認

①キーボードの切替

日本語かなキーボードの左下の「次のキーボード」をダブルタップする。「次のキーボード日本語かな」と読み上げると、現在のキーボードが「English(US)」である。

②モード切替

- ・ 左下の「モアナンバーズ」キーをダブルタップすると、数字キーに切り替わる。
- ・ 最上段に数字、下2段に記号が配置されている。

③入力

入力は数字を選び、スプリットタップをする。このキーボードはすべて半角で入力されるので、変換の必要がない。

④確認

先の日本語かなキーボードと同じ手続きで確認する。

練習 11 松原町の後に、「5-1」と半角文字で入力し、言語を **English(US)**にして半角であることを確認します。

(4) アルファベットの入力

アルファベットの入力は、どのキーボードでも可能であるが、**English(US)**キーボードは半角文字を確実に入力するのに向いている。

ここでは、日本語かなと **English(US)**キーボードでアルファベットの入力練習を行う。

□「日本語かな」キーボードで入力

手順:モードを **English(US)**に切変 → テンキー入力 →必要に応じて大文字に変換 → 確定 → 確認

①「モード切替」キー

「その他、文字」キーをダブルタップすると、「その他、数字」と読み上げる。現在のモードは、「その他、文字」（つまり、アルファベット入力）

②テンキー入力

例えば、「c」を入力する場合、「a」でスプリットタップを3回行う。

③必要に応じ、大文字に変換

- 入力の文字は、そのまま確定すると、小文字で入力される。
- 大文字に変換するには、左下の「大文字と小文字の切替」キー（音声入力の右側）をダブルタップする。入力中の最後の文字が大文字に変換される。

④確定

大文字に変換した文字や小文字のままの文字を確定するために、「確定」キーをダブルタップする。

⑤確認。

- ローターを言語に合わせ、上下スワイプで「**English(US)**」を選択する。
- ローターを「文字」に合わせる。
- 上下スワイプで読み上げる。
- 小文字の場合、「エイ」「ビー」「シー」と読み上げる。
- 大文字の場合、「キャピエイ」「キャピビー」「キャピシー」と読み上げる。

□「English(US)」キーボードで入力

手順:キーボードを **English(US)**に切替 → 必要に応じて、「シフト」キー → 入力 →確認

①キーボードの切替

日本語かなキーボードの左下の「次のキーボード」をダブルタップする。「次のキーボード日本語かな」と読み上げると、現在のキーボードが「**English(US)**」である。

②シフトキー

- ・大文字を入力する前に、左下の「シフト」キーをダブルタップ（スプリットタップ）し、シフトキーを押した状態にする。「シフト」キーを触れると、「選択中のシフト」と読み上げる。この場合、次の1文字だけが大き文字となり、入力終了後は、シフトが解除される。
- ・キャップスロックをオンにすると、入力文字すべてが大文字となる。「シフト」キーをトリプルタップ（ダブル・スプリットタップ）する。

*現在、トリプルタップではキャップスロックをオンにできないので、ダブル・スプリットタッ

プを行う。

- ・キャップスロックのオンを解除するには、ダブルタップを行う。

③入力

- ・目的のキーを探して、スプリットタップする。
- ・画面が縦の場合、キーの間隔が狭く、スプリットタップする時に、キーの位置がずれることがある。画面を横にした方が、キーの間隔が広く、入力しやすいが、その場合、画面のロックを解除し、画面が横になったのを確認後、再度画面をロックするという煩雑な作業が必要である。

④確認

日本語かなキーボードの「⑤確認」と全く同じ手続きで確認する。

練習 12 松原町 5-1 の後に、「BIG Front」と半角文字で入力し、BIG Fは大文字にします。そして、言語を English(US)にして確認をします。

練習 13 iCloud で次の Apple ID とパスワードでサインしましょう。自分の使いやすいキーボードで入力してください。iCloud のパスワードは、大文字を含みますので注意してください。

<https://www.icloud.com/#>

(5) 音声入力

音声入力を利用すれば、比較的簡単に早く文字の入力ができるので、利用する価値がある。しかし、一部に認識間違いや同音異義語などが含まれることも少なくないので、必ず、入力後、確認、修正の必要がある。

手順:挿入ポイントの移動 → 音声入力 → 入力文字の確認 → 必要があれば修正

①挿入ポイントの移動

- ・テキストフィールドでダブルタップを何度か行い、挿入ポイントを確認する。
- ・ローラーを「文字」または「単語」「行」に合わせて、上下スワイプによって目的の箇所に挿入ポイントを移動する。

②音声入力

キーボードの「音声入力」キーを使って、音声入力を行う。

- ・左下の「音声入力」キーをダブルタップすることで、入力待ちとなる。
- ・「ピン」と応答があった後、入力したいことを大きな声で話す。
- ・話終わると、2本指ダブルタップで入力終了となり、入力された文字列を読み上げる。

③確認

ローラーを「文字」「単語」「行」に設定し、上下スワイプでそれぞれ「文字」「単語」「行」単位で読み上げる。

④修正

「6の文字列の編集」の「削除」「切り取り」「ペースト」などを参考にする。

練習 14 次の文を音声入力し、どれだけうまく認識できたか確認してみよう。

- ・例文1 「悲願の金を取るために来年3月のピョンチャンパラリンピックを目指す森大樹」
- ・例文2 「痛みと命が天秤にかけられると知っていたら、妹は無痛分娩を選ばなかったはず」「麻

酔をしていながらなぜ目を話したのか

6 文字列の編集

(1) 「削除」キー

日本語かなキーボードの場合、右上の削除キーを用いて、一文字ずつ削除できる。

- ・文字入力中の場合は、削除キーで最後の文字から削除できる。
- ・編集時は、キーボード上のカーソルと編集フィールドの挿入ポイントはそれぞれ独立している。「削除」キーは、パソコンの「バックスペース」キーと同様の働きをするので、挿入ポイントの左の文字を削除する。そのため、挿入ポイントの確認が重要である。

□編集時の削除

手順: 挿入ポイントを移動 → 削除キー

- ・挿入ポイントの移動
 - ローターの移動単位を「文字」「単語」に設定する。
 - 上下スワイプを行い、挿入ポイントを削除したい文字の右側に移動させる。下スワイプによって読み上げた文字、単語の右に挿入ポイントがあることに注意する。
- ・「削除」キー
 - 上記の挿入ポイントの移動の後、キーボードの右上の「削除」キーをダブルタップする。
 - 削除された文字を、通常の読み上げより少し低音の音声で読み上げる。

□連続した削除

- ・削除キーをダブルタップ&ホールドすると、挿入ポイントから文字が順次削除される。
- ・指を離すと、削除が中止される。削除した最後の数個の文字列を読み上げる。

(2) 入力や削除の取り消し

入力した文字列が間違っていた場合や誤って文字列を削除した場合などは、その操作の取り消し操作を行うと、前の状態に戻る。

- ・取り消し操作（誤って削除した場合）
 - iPhone を小刻みに振る。
 - 「取り消す。入力」との読み上げの後、左右フリックによって「取り消す」ボタンまで移動し、ダブルタップする。

(3) 文字列のコピー・切り取り・貼り付け

ローターの編集機能を使って、パソコンと同じように、文字列を選択し、「コピー」「カット」「ペースト」を行うことができる。

□カット・コピー

手順: 挿入ポイントの移動 → 文字列の選択 → 確認 → カット・コピー実行

①挿入ポイントの移動

挿入ポイントを選択する文字列の左側に移動する。

- ・ローターを「文字」または「単語」に合わせる。

- ・上下スワイプによって、選択したい文字列の左側（選択したい文字列の最初の文字の左側）に、挿入ポイントを移動する。
- ・上スワイプで読み上げられた文字から選択となる。

②文字列の選択

- ・ローターをテキスト選択に合わせ、上下スワイプで選択単位を指定する。
 - 「文字選択」「行選択」「ページ選択」「すべてを選択」の単位から選ぶ。
- ・右スワイプを行い、選択したい文字列の最後の文字まで移動する。

③確認

選択した文字列を確認する。

- ・3本指タップをする。「選択中の・・・」と読み上げる。

④カット・コピー・ペーストの実行

- ・ローターを「編集」に合わせ、上下スワイプによって、目的とする編集操作（カット、コピー）を選択する。
- ・編集操作を実行するため、ダブルタップする。操作内容を読み上げる。

□ペースト

手順: **カット・コピーの実行** → **ペーストする挿入ポイントへ移動** → **ペーストの実行**

①カット・コピーの実行

先の「カット・コピー」を参照。

②挿入ポイントへ移動

- ・ローターを「文字」または「単語」に合わせる。
- ・挿入ポイントに、コピーした文字列が挿入されるので、上下スワイプによって、挿入すべき文字列の右側に挿入ポイントを移動する。

③ペーストの実行

- ・ローターを「編集」に合わせ、上下スワイプによって、ペーストを選択する。
- ・編集操作を実行するためにダブルタップする。操作内容を読み上げる。

練習 15 次の文の1行目をコピーして、3行目に挿入します。

- ・3行目の「春」を削除して、そこに「夏」を挿入します。
- ・3行目の「清き」を削除して、そこに「強き」を挿入します。

例文) すでに、メモに入力済。

春を愛する人は 心清き人
すみれの花のような ぼくの友だち

練習 16 iCloudのIDとパスワードをメモに記入しておき、それをコピーし、Webの入力フィールドにペーストしましょう。